

ベトナムのがん治療の進化と国際的評価

2025年2月25日 作成

カテゴリ 医薬品・ヘルスケア

ベトナムのがん治療の進化と国際的評価

ベトナムでは医療技術の向上と低コストの治療が評価され、国内外のがん患者が治療を受けるケースが増えている。特に首都ハノイやホーチミン市の主要医療機関では、先進的な治療法を導入し、世界基準の医療を提供している。

近年、海外での治療費の高さから、ベトナム国内でがん治療を選択する患者が増えている。例えば、シンガポールの10分の1の費用で同等の治療を受けた患者や、免疫療法を活用し腫瘍の縮小に成功したケースが報告されている。海外で高額な治療を受けた後、最終的に国内の医療機関に戻るケースも多い。

外国人患者の受診も増加しており、特に米国、フィリピン、韓国、日本などの患者が、費用対効果の高さと高度な医療技術を理由にベトナムを選んでいる。例えば、アメリカ人の患者が大腸がんの治療を受け、腫瘍が大幅に縮小するなどの成果を挙げている。また、フィリピンの患者がホーチミン市の病院で困難な手術を成功させ、短期間で退院することができた。

ロボット手術の導入や最新の放射線治療技術により、ベトナムのがん治療は大きく進歩している。ホーチミン市の医療機関では、前立腺がんのロボット手術が実施され、精密かつ迅速な治療が可能となっている。これらの手術費用は、シンガポールの約10分の1と低コストであり、海外からの患者も増えている。

ベトナムのがん診断・治療技術は、先進国と遜色なく、最新の画像診断や遺伝子解析、ロボット手術、免疫療法などが普及している。保険制度の充実により、高額な抗がん剤治療もカバーされ、多くの患者が適切な治療を受けられる環境が整いつつある。政府は今後も医療の質を向上させ、国内外の患者にとってより魅力的な医療拠点となることを目指している。

以上